

## 第1回庄原市行政評価委員会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成25年12月19日（木）  
開 会：10時00分  
閉 会：12時00分
2. 開催場所 庄原市役所 5階 第1委員会室
3. 出席委員 山内文雄 委員（委員長） ・ 荒木和美 委員（副委員長）  
栗部秀道 委員 ・ 小田恵子 委員 ・ 今村舞由美 委員
4. 欠席委員 なし
5. 出席職員 企画課長 兼森 博夫  
企画課政策推進係長 中田 博章  
企画課政策推進係 横山 敬之  
企画課政策推進係 出口 聡
6. 傍聴者 2名
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

## 第 1 回庄原市行政評価委員会次第

平成 25 年 12 月 19 日（木）14：00 から  
庄原市役所 5 階第 1 委員会室

1．開 会

2．市長あいさつ

3．委嘱状交付

4．委員長及び副委員長の選出

5．委員長あいさつ

6．議事

(1) 「庄原市の行政評価」について

(2) 「庄原市行政評価委員会」について

(3) 「平成 25 年度の試行評価対象事業」について

7．その他

8．閉 会

## 会 議 経 過

### 1．開 会

### 2．市長あいさつ

行政の事務執行は、地方自治法にも規定されておりますとおり、住民福祉の向上に努めるとともに、最少の経費で最大の効果をあげることが、要請されるところです。

「行政評価」につきましては、外部評価を取り入れて行うべき必要な施策と考えおり、本年度は、試行的に実施することとし、制度の検証を行いながら、本市に適した制度設計を確立してまいりたいと考えています。

委員の皆様のお力添えをいただき、事業の評価を厳正に実施するとともに、真に必要とするサービス及び適切な事業内容を見極める中で、市民の皆さんの理解と満足度を高め、「やっぱり庄原がいちばん」と実感していただける行政運営に努めてまいりたいと考えています。

### 3．委嘱状の交付

### 4．委員長・副委員長の選出について

委員長に山内文雄委員、副委員長に荒木和美委員を選出

### 5．委員長あいさつ

庄原市では、外部委員による評価は初めての試みであり、今回実施する行政評価は、庄原市まちづくり基本条例第12条に規定する「市民の参画を得て評価」の条文を根拠とし実施するもので、この条例の一番の核となるのは、「市民目線」であり、行政評価委員も市民目線でしっかり議論し、また、限られた時間、人数の中で、一部の特定の案件しか審査できないということを踏まつつ評価を行いたいと考えています。

以前、県知事が「行政評価は、評価結果はもちろんであるが、その過程が大事でありマスコミを通じ、県民がしっかり着目することにより職員の意識改革が図られ、これが効果の一つである。」と言われていたことがあり、私も同様に考えており、皆さんと連携して頑張っていきたいと思います。

### 6．議事

#### (1) 「庄原市の行政評価」について

【資料No. 1】により事務局が説明

事務局：市長のあいさつでも申し述べたが、平成25年度は試行期間であり、今回の実施による課題等を検証し、制度を確立していきたい。

委員長：大まかなスケジュールはどのようになっているのか。

事務局：プランナー・モニター及び市役所本支所での市民意見の聴取を本日から開始しており、次回の委員会で、これらの評価意見を集計したものを提示するため、委員会での実質の評価開始は、

平成26年1月17日の第2回からとなる。本年度対象事業である6項目のうち、各回2項目程度を1週間から10日くらいのスパンで審議いただきたい。

評価の反映時期については、事業の性質により、直ちに平成26年度から反映できるもの、予算を伴うもの、また、関係者との調整が必要な事業については、平成27年度以降の反映となる場合もある。

(2) 「庄原市行政評価委員会」について

【資料No. 2】により事務局が説明

委員：全庁的に実施するのであれば、少しずつでも関わりを持つべきと思うが、1次評価対象事業は、全ての部署が1事業以上選定するのか。

事務局：今年度であれば、全ての部署から1事業を選定した。次年度以降は、例えば約500の対象事業の30%を選定する方式も考えられる。

委員：行政評価委員会での評価結果は、ホームページなどで公表するのか。

事務局：本日も傍聴者がおられるが、この委員会は公開であり、会議記録や評価結果は、ホームページ等で公表する。

委員：まちづくりプランナー・モニター（以下「プラモニ」と表記します。）等の市民意見募集のPRを行い、多くの意見が寄せられるようにしていただきたい。

委員長：平成26年度以降は、1次評価対象事業は、すべての課から選定されているのか。自らの見直しに消極的な部署もあるのではないかと。

事務局：対象外としている事業もあり、多い少ないはあるが原則、すべての課から選定される。

委員長：委員会の目線で、対象とする事業を提案することもできるような視点をもって実施していきたい。

(3) 「平成25年度の試行評価対象事業」について

事務局：本来であれば、事業担当課が出席し、対象事業の内容について説明すべきであるが、本日は、初回の委員会であるので、評価シートの見方を中心に事業の概要のみについて説明する。

【資料No. 3】及び【評価シート】により事務局が説明

委員：評価結果の「協働を模索」との協働は、実施主体の協働であるのか、他の事業の協働を意図するのか。

事務局：民間委託を含めた実施主体の協働を意図したものである。

委員：プラモニがみる資料は、この評価シートと同様のものか。

事務局：基本的には同様の内容を掲載しているが、携帯電話で閲覧できるような形式で掲載している。

また、プラモニについては、個別に事業の説明や質問のやり取りができないため、分析項目を一部に限っている部分がある。

委員：携帯電話で回答された場合の集計方法は。

事務局：携帯電話でも回答結果はデータで受け取るので、集計は容易である。

委員：プラモニの回答は選択式か。

事務局：選択式であり、特に理由を付記したい場合のみ文字入力となる。

委員長：評価対象事業の内容を一番理解しているのは職員であり、また、今回の対象事業は担当課がある程度見直しの必要性を感じて提案している事業である。課題が分かる資料を委員からの求めがあるまで待っているのではなく、自主的に提示していただきたい。やはり、成果があったのか、なかったのかを検証しないといけないが、今回の提示資料では、判断ができない。

委員：自主防災組織支援事業について、補助金を実績としてどのような用途に活用されたのか資料を提示いただきたい。

委員：審議の順番は、資料3の上から順に審議するのか。

事務局：原則、上から順に実施するよう考えているが、予算編成や事業の見直し時期の関係上、評価結果を早期にいただきたい項目については、優先的に評価いただく場合もある。

委員：条件付一般競争入札執行事業について、そもそも対象事業者が少ないから参加者が少ないのか、対象事業者は多いのに参加者は少ないのかなどがわかるよう、対象工種、対象事業者数がわかる資料を提示いただきたい。

事務局：参考であるが、入札結果については、落札業者、落札額等を庄原市のホームページへも掲載している。

委員：アウトカム指標の設定の仕方に苦労していると思うが、判断の基準となるものであり、例えば、チャイルドシートの指標であれば、他でレンタルされているものの伸び率であるとか、他地域の動向も参考にするなどなるべく多くの設定をしてほしい。

事務局：評価を求める側として工夫していかなければならない。乳幼児のシートベルト着用率等の資料があればいいが、統計的なものがない指標もあり、どのような設定が適切か苦慮しているところである。

委員長：補助金交付要綱等の根拠法令の条文や事業の内容がわかる資料、成果がわかる資料を提示いただきたい。例えば、県立広島大学研究開発助成事業について、我々がみるとビックリするぐらいの多額の経費を要しており、その実感が市民にはないと思う。実用化された研究名や件数だけでは、判断ができないので、庄原市域に還元し地域経済に貢献できているのか、数値でわかる資料として、具体的に販売実績額等の資料を提示いただきたい。

入札については、内部事務事業であり制度が市民にわかりにくいと、まず、主管課からルールについて伺いたい。1者入札が問題なのか、どのような条件を付けてもいいのか、地域に還元できるからいいのか、しっかり説明を聞かないと判断ができない。

自治振興区振興交付金について、配分基準の問題として提案されているが、根本的な問題として、そもそもなんのために自治振興区に補助金を交付するのかという議論が必要と考える。

自主防災組織については、ここに提案されている事業だけでなく、お金を積んだからといって組織ができる訳ではなく、どのような手法でまちづくりを進めていくか、大切なのは人的な指導であると考えている。

次回の資料は、事前に送付してもらえるのか。

事務局：事前に送付する。

委員長：それでは、本日の審議は、この程度に留め、これで会議を閉じたいと思う。

次回は、平成26年1月17日（金）午後2時から開催する。

7. その他

- ・次回審議会 平成26年1月17日（金）開催予定

8. 閉 会